

# 秦野市青少年指導員だより

第41号

発行／秦野市青少年指導員連絡協議会 編集／秦野市青少年指導員連絡協議会広報委員会

## 頑張っています 地域と協働した活動

私たち青少年指導員は、未来を担う子どもたちの健全な育成を支援するほか、地域が取り組むさまざまな行事や活動も支えています。今回は、皆さんの身近な公民館や児童館などでの活動の一端を紹介します。

楽しいよ！

子どもまつり

秦野市では、毎年五月五日の子どもの日に中央運動公園陸上競技場と水無川河川敷において「子どもまつり」を開催しています。

家族みんなで楽しむイベントが用意され、毎年多くの親子でにぎわっています。

今年、「フリスタックアウト」の世界祝居、昔の遊び、大紙芝居、曾屋高校生のあふあ、東海大学生によるゲーム、菖蒲葉の無料配布など多くのイベントも開催されました。

子どもまつり、盛りだくさんの指導員も私たちが活動の担い手として参加しています。



子どもに大人気のミニ動物園



「たい焼きコーナー」



→シャトルラン

- ▽ ふれあいゲーム(陸上競技場)
- ▽ 靴飛ばし
- ▽ 履いている靴を飛ばし、その距離を測ります。
- ▽ Uターンドリブル
- ▽ ボールをキックしながら走り、戻って来るまでの時間を計ります。
- ▽ 縄跳び
- ▽ 縄飛びをしながら走り、戻って来るまでの時間を計ります。
- ▽ 三角合わせて何点
- ▽ いろいろな点数が書かれた円の中に玉を入れ、入った点数を合計します。
- ▽ シャトルラン
- ▽ 二十メートルの距離をだんだん速くなってくる音楽に合わせて往復します。
- 何に戻って来るかを計ります。

そば、うどん、ポップコーン、ポンポン菓子に加えて、今年はいたい焼きも販売しました。

### 参加者からの声

(2) 第41号  
毎年参加している家族もいいます。「去年より記録が良くなかった。」新しい種目が増えてうれしかったです。そして「毎年来しみにしている。これをからも続けてもらいたいです。」と。そして、初めて参加者からは、「これまで知らなかった。来年もぜひ参加したい。」との声も。うれしい限りです。

も改善できるよう工夫していききたいと思えます。

### 笑顔でお待ちしています

参加する一人ひとりに楽しんでもらうためには、「私たち青少年指導員が楽しむ！」。毎年こんな意気込みで、子どもまつりで活動しています。

町区  
本地

### 自然を満喫！ 探検&ジャム

秦野駅周辺は、市役所をはじめ、さまざまな商業施設やマンションが建ち並んでいます。でも、その下にぎやかなジャスコのそばを下ってカインズホームの脇まで来ると、そこはもう別世界のような自然にあふれています。

らおうと、さまざまな体験活動を行っています。

### いざ、金目川探検へ

夏休みに入って間もない土曜日の朝、末広ふれあいセンターを出発し、上流にある東公民館を目指して金目川を上ります。

### 滝をのぼって上流へ

上流に向けて進んでいくと、さながら傾斜がきつくなり、はしごを渡さないと進めなような滝にもぶつかりました。

す。弱音を吐き始める大人を尻目に、子どもたちは得意満面でのぼっていきま

がら四時間ほど歩きました。さすがの子どもたちにも疲れが見えてきた頃、ゴールの東公民館に到着しました。日常生活では触れることのできない自然を体験でき、すてきな夏の思い出になっ



初めてのブルーベリー摘みに大興奮

### ブルーベリー摘みに挑戦

夏の終わりに、自然の恵みをいただき、自然のブルーベリー摘みとジャム作りを行いました。



# 秋の収穫祭 もちつきで交流

22年12月  
三屋台児童館では今年、成例年の「夏の納涼祭」を中止して「秋の収穫祭」を実施しました。戸川西自治会・こども会・児童館利用団体等で協力し合って、子どもたちのために、焼き芋・豚汁・落書きせんべい・綿菓子などを準備しました。が、私たち青少年指導員は



もちつきはみんなが協力

(4) 第41号  
まず、火起しから開始。大きなかまどに火を付けてお湯を沸かします。お湯が沸いたら洗ったもち米を洗い入れ、二十分程蒸し、蒸し上がったら、落とすに移しますが、落とす

ら大変。おっかなびっくりのうち準備が完了しました。さあ、もちつきだ！

子どもたちは、もちつきができるみんな張り切り、待ちをもう十数名が順番に子ども用の小さなうすを使うので、誰もが元気にすくくことができず。小さな子どもは、母親に支えてもらい抱えるようにして杵を持ち、頑張っていました。

餅の手返しは青少年指導員が担当。油断して手を打たれないよう必死で、そして汗だくで奮闘しました。入れ替わり立ち代り、一生懸命についてくれたおかげで、段々お餅らしくなってきました。また、男子中学生も飛び入りで参加し、力強い餅つきぶりに周囲もびっくり。

自分で餅つきするのが初めての子もいて、「楽しかった。また来年もやりたい。」と大喜びでした。

## おいしいきな粉もち

つきたてのものは、児童館利用団体の方々が必要な粉



小さな子もカー杯に「ヨイショ！」

もちにして、みんなに振る舞ってくれました。自分でも「もうまい！」と、お代わりの声があちらこちらで上がり、「うすでついたらもち腰が、うすでついたらもち腰から大好評でした。大人たち

## お疲れさまでした

参加した五十人ほどの子どもたち全員が、きねを手に、もちをついてくれました。また、きつと大いに楽しかったです。はまらないと思います。最終的に十キロのもちをつきあげました。青少年指導員の腕と腰が、翌日その痛みを上げました。と言うまでもありませんでした。

## 県青少年指導員大会

十一月十四日、川崎市高津市民館大ホールで、第四十三回神奈川県青少年指導員大会が「やさしい心おもいやる心」つなげよう地域の力！」をスローガンに開催されました。

APECが開かれる忙しい中、松沢県知事が出席し、来年四月に施行される「県青少年保護育成条例」について話されました。改正された条例では、新たに青少年指導員が条例上に位置づけられ、そして青少年の健全育成に社会全体で取り組むため、青少年を取り巻く関係者（保護者・県民・事業者・県）に基本的な責務が設けられました。来年は、平成二十三年十一月二十日に大和市生涯学習センターで開催されます。

## 広報委員

- 岡井友江・幡井康雄(本町)
- 菅沼きぬ江・溝口雅之(南)
- 久保光弘(東) 片野良一(北)
- 佐藤正男(大根) 西村正広(鶴巻)
- 青木秀之・伊藤恵子(西・上)